

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	露語第二(再履)		
英文授業科目名	Elementary Russian II		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	熊野谷 葉子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nakagawa-kumanoya@cnc.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
1) ロシア語の発音や文法上の特徴について、他の言語と比較しながら説明できること。 2) 簡単なロシア語の文章であれば、露和辞典を引いて読み、正確に日本語に訳せること。 3) 参考書や辞書がなくても自己紹介や簡単な会話ができること。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
露語第一

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
教科書：桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社） 辞書：露和辞典なら何でもいいが、初心者には、米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）、『博友社ロシア語辞典』が使いやすい。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

夏休み明け最初の2回は、1学期に学んだロシア語の文字や基礎文法を復習する。  
その後は教科書の続きを進め、少なくとも12課までは終了する。  
学期の終わりにはロシア語の初級文法が一通り分かって、中級へ移行できるようにしたい。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- ・いかなる理由であれ、出席率が半分に満たない学生には単位取得は認められない。
- ・授業時間の終わり10分程度を使って毎回100点を満点とする小テストを行い、その得点を学期末に平均する。
- ・学期の最終授業を使って100点を満点とする学期末試験を行う。上記の小テストの平均点とこの試験の点数を足して2で割り、その得点をそのまま成績評価とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

- ・授業内容に関する質問は授業中に適宜すること。
- ・授業と直接関係しない、あるいは授業の流れを妨げるかもしれないと思われる質問や相談は、授業後かメールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

この授業では、3学期の勉強を復習しながら、更にいろいろな文法事項を学んでいきます。名詞の格変化や動詞の人称変化など、覚えるのがたいへんなこともあります。完全に覚えていなくても辞書がひければ大丈夫。とにかく辞書をひいて、たくさん読み、たくさん話しましょう。ロシアの社会や文化に関する情報にも触れたいと思います。

### 【その他】